

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL <0762> 52-2271

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：大村精二 幹事：佃 一成

情報委員長：中村三次

1983・8月4日 第246号

最近の金融経済情勢について

日本銀行金沢支店長

土谷 晴義 氏



今日の景気の現状は、例えていえば、曇り空にとろとろ晴れ間が見えて来たが、まだ傘が手離せないという状況で、少しずつ良くなって来ているが、まだ不況といえます。

経済政策上の不況対策としては、一つは財政支出を増し減税をする、今一つは金利を下げるという二つの方法があるが、第一の方法は、国家財政多端の折で、行政改革が行われている今日では到底とることができません。これは日本だけではなく、アメリカ、西ドイツ、イギリス等先進国も同様です。第二の金利引下げですが、これもむずかしい問題があります。

昨年たしかに不況で、為替相場が円安となり、輸入依存度の高い日本では、物価上昇が懸念されて、国内の景気対策の観点からいえば、金利引下げが望まれるが、そうすると、円安に一層の拍車がかかり、資本流出、貿易摩擦の増大につながるので、為替相場に注意を払いつつ、仮りに金利を下げて、為替相場が円安にならないような、自信をもてるようになってからでないといけないわけです。

円安になると輸入価格が高くなり、せっかくの原油値下げも恩恵をうけることが出来ないことになっては困るわけで、今や為替相場は、国内問題そのものとなって来ております。資源のない日本は、原料を輸入し、加工して付加価値を高めて輸出し、貿易によって経済を支えている国だから、自由貿易は日本にとって一番重要なことです。

日本では失業率は低いですが、アメリカをはじめ、各国は不況に加えて失業率が10%を超え、日本はいい品物といっしょに失業も輸出してくると、悪口をいいはじめています。

日米関係は、全体として、いい関係にあるようにいわれているが、経済面では対日輸入規制や日本の市場開放等困難な問題があります。日本自身も、貿易摩擦をこれ以上悪化させず、緩和して行くよう調整するために、為替相場を円安に誘導するようなことは絶対に出来ず、むしろ円高の方へ持って行かねばならないのです。ですから為替相場さえ円安にならないという自信がつけば、物価との関係で金利の低い状態にしておきたいのです。

現在は不況ということもあるが、石油価格が下がったこと、ベースアップも4・5%どまり等で物価が落ち着いていますので、長期的成長に関係の深い設備投資の問題や、いつ又インフレになるかわからないその時のために金利を下げておきたいのです。為替相場は全体として、少しずつ金利を下げるチャンスに近づきつつあると思われませんが、仮りに金利を下げるが出来なくても先の経済見通しの悪材料は出つくし、少しずついい材料が増えているので、経済は除々に上向く形で自然に回復してくるよう見えております。

現在は不況ということもあるが、石油価格が下がったこと、ベースアップも4・5%どまり等で物価が落ち着いていますので、長期的成長に関係の深い設備投資の問題や、いつ又インフレになるかわからないその時のために金利を下げておきたいのです。為替相場は全体として、少しずつ金利を下げるチャンスに近づきつつあると思われませんが、仮りに金利を下げるが出来なくても先の経済見通しの悪材料は出つくし、少しずついい材料が増えているので、経済は除々に上向く形で自然に回復してくるよう見えております。

現在は不況ということもあるが、石油価格が下がったこと、ベースアップも4・5%どまり等で物価が落ち着いていますので、長期的成長に関係の深い設備投資の問題や、いつ又インフレになるかわからないその時のために金利を下げておきたいのです。為替相場は全体として、少しずつ金利を下げるチャンスに近づきつつあると思われませんが、仮りに金利を下げるが出来なくても先の経済見通しの悪材料は出つくし、少しずついい材料が増えているので、経済は除々に上向く形で自然に回復してくるよう見えております。

—金沢北RC例会講話より— (文責 中村三次)

柴田三郎

「随想 私のロータリー三十年」を読んで

越野 民男

去る寺の境内に立って居た二体の延命地蔵さんは若い頃の柴田さんを本当によく紹介してくれている。昭和28年の原稿「笠をかぶった地蔵さん」

壊れた地蔵さんは誰か奇特な人によって整形され、毎朝会社へ通う柴田さんを見て微笑んでいた。ある日この地蔵さん、真新しい笠を頭にのせて居る。——美しい心の人の手で——。ところがみぞれ降る日、この笠が誰かに持ち逃げされた。三・四日後この笠再び雪降る地蔵さんの頭に戻っていた。柴田さんは戦後の荒廃した日本人の中に「心」が残っているのを見られたらしい。若い頃から柴田さんは人間の善意を信じ、何事も真心をもって鋭く眺めていられた様だ。相手の美しさ、立派さ、誠実、親切、すべてを自分の心とされ、その教えに感謝し実行されて居られるのが窺える。

今回柴田会員が「随想 私のロータリー三十年」を発刊された。当クラブの名誉である。

感想文を——先日中村三次情報委員長より、共に金沢東RCから移籍した者として書いて欲しいと依頼された。その本を読み流暢にして美麗余りにも立派すぎ到底私には書けそうもない。昭和28年3月金沢RCへ入会されて30年、書きつづけられたこの本を読めば今まで分らなかったロータリーへの疑問が解け、その真髓が解明出来ると云っても過言でなく一大指針であろう。登場する多くの先輩の行動は何れも我々の鏡であり、真のロータリアンである。掲載されている言葉はすべて我々の教訓であり、人間として生きる道標だと思う。職業奉仕を根幹とし超我の奉仕をモットーとするロータリー精神と、ともすればRIに盲従し、スタンドプレーに身をやつす日本のロータリークラブの現状。柴田さんは常に一步進んで真のロータリーを目指し努力して居られる。この柴田さんを会員にもつ我がクラブは幸福であるが、又会員夫々の責任も重い。自分の人生は苦難と激闘のくりかえしであったが希望と情熱だけは忘れなかった。人間の真理の究明と倫理の実践を解くロータリー精神は常に心の糧であり、社会生存と事業経営の指導者である。

クラブが創立されて10年、その間クラブ会報に掲載された論文は至るところに見られる。我々は果して柴田さんの期待に答えて来ただろうか。多分頼りない存在であったに違いない。今年創立10周年、今こそこの随想を探究し一步でも真のロータリアンに近づくべく努力する事だけが、我々にかせられた任務であり、この随想に報いる道であろう。柴田さんお目出度う、有難う、御苦労さん我々はこれを座右の銘として頑張ります。



1983~'84年国際ロータリー第261地区

ホスト 輪島ロータリークラブ
 コ・ホスト 珠洲ロータリークラブ
 能都ロータリークラブ
 内浦ロータリークラブ
 門前ロータリークラブ



年次大会案内

漆の里 輪島から 一世界に向って友情の輪を広げよう

プログラム

月日	行 事		時 間	場 所	登 録 料	
10月1日(土)	委員会	信任状審査委員会	開会 10:30	輪島市文化会館		
		決議委員会	閉会 11:00			
		選挙委員会				
	会長幹事懇談会	開会 10:30 閉会 12:35				
10月2日(日)	協議会	部会	職業奉仕部会	八 汐 荘		
			社会奉仕部会			登録 12:30
			青少年奉仕部会			開会 13:30
			国際奉仕部会			閉会 16:55
講演	松本昌平氏					
10月2日(日)	RI会長代理を囲む晩餐会		開会 18:00 閉会 20:00			
	委員会	登録委員会	開会 9:30 閉会 10:00	輪島市文化会館	会員 ¥11,000 家族 ¥10,000	
	本会議	式典	登録 8:30 開会 9:30 閉会 16:45			
		記念講演	勝部領樹氏			
		交換学生プログラム		出発 11:30 帰着 13:30	輪島市内観光	
	レディース・プログラム		出発 14:00 帰着 16:30	輪島塗工程、展示場見学等		
10月3日(月)		希望晩餐会	開会 17:30 閉会 19:30	輪島市文化会館	1名 ¥5,000	
	記念ゴルフ大会		スタート 9:00	能登ゴルフ倶楽部	1名 ¥4,000	
	エキスカ	Aコース	輪島—門前—巖門—千里浜—金沢	出発 8:00 終着 17:50	自輪島市文化会館 至国鉄金沢駅前	1名 ¥8,500
ーション	Bコース	輪島—珠洲—内浦—和倉(泊)—巖門—金沢	出発 8:00 終着 4日 15:15	自輪島市文化会館 至国鉄金沢駅前	1名 ¥32,000	

* ゴルフのプレイ料金、グリーンフィは各自負担。 * 宿泊料は1泊1名につき税・サービス料込で¥12,000

※お申し込みは至急事務局へ

今週の花

吉山宥海
(7月28日)

浜 荻 おき
玉あじさい



